

## 都筑区南西部における市営バス路線再編に関するお知らせ

3月26日の連合町内会定例会で横浜市交通局から都筑区南西部における市営バス路線再編に関して、下記のとおりお知らせがありました。連合町内会関連では73系統が路線変更となり一方循環となります。また、1本/2時間程度と若干減便となります。

連合町内会は、高齢化が進んでおり、バスが主要な移動手段となっており、単に経費削減だけでなく連合町内会の事情を勘案してほしいと要望しました。

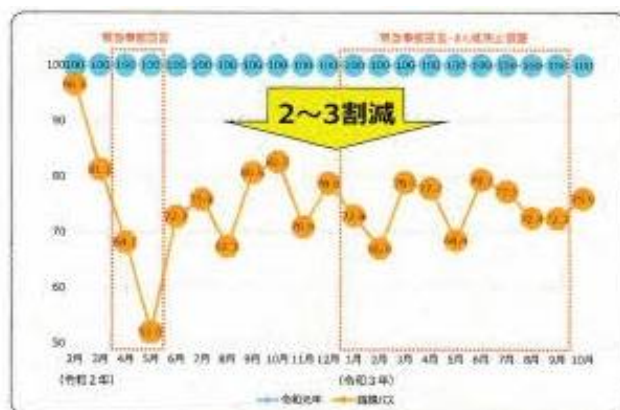
意見等がありましたら、横浜市都筑区地域振興課または町内会自治会の役員へお伝えください。

### 1 路線バス事業の現状

路線バス事業は、近年の少子高齢化による利用者の減少や乗務員不足などにより、路線の維持が大変厳しい状況です。

加えて、新型コロナの影響によるテレワークや外出抑制などにより、路線バスの収支状況は更に厳しさを増しております。

関東管内の路線バス輸送人員の推移【令和元年比較】  
(国土交通省関東運輸局プレスリリースより道路局作成)



### 2 市営バスの状況等

#### (1) 収支状況等

新型コロナの影響を受ける以前は、約3割の黒字路線の利益で約7割の赤字路線を賄っていましたが、令和2年度決算では黒字路線が1割、赤字路線が9割となり、黒字路線で赤字路線を賄うことができなくなりました。

市営バス全路線収支概要  
(交通局ウェブページより道路局作成)

令和元年度		
	路線数	構成比
黒字路線	42	31.1%
赤字路線	93	68.9%
合計	135	100%

↓ 黒字路線の減少

令和2年度		
	路線数	構成比
黒字路線	13	9.5%
赤字路線	124	90.5%
合計	137	100%

## (2) 市営バスネットワーク維持に向けた考え

将来にわたり市営バスネットワークを維持していくためには、運行効率化を図り、利用実態に合わせたバス路線再編（行先・経路の見直しや、路線短絡、運行便数の見直しなど）を実施しながら、自主自立の経営を継続していくことが必要となります。

## 3 都筑区内の検討について

横浜市交通局は市営バスネットワーク全体を維持していくために、都筑区内の路線も含めすべての路線を対象に見直しを検討しています。

路線の見直しに関連して、昨年4月には、横浜市生活交通バス路線である73・80・318系統のダイヤ改正を実施しました。

引き続き、市営バスを維持していくためにも、更なる路線再編等による効率化を実施せざるを得ない状況です。実施に際しては、地域のみなさまのご意見を伺いながら検討していきたいと考えています。

## 4 73・80系統の路線再編について（別紙1参照）

並行して走る周辺路線を考慮しながら、利用実態に合わせた運行便数の調整やルート変更などにより経費を削減し、収支改善を図ります。

### (1) 73系統

「センター南駅→川和町→都筑ふれあいの丘駅→センター南駅（一方循環）」に経路を変更して運行します。（1本/2時間程度）

### (2) 80系統

通勤・通学の時間帯の需要を踏まえ、「センター南駅～中山駅前」の運行を継続しますが、中山駅付近の一部ルートを変更します。（1本/2時

間程度)

5 今後のスケジュール（予定）

會和3年度：地域の皆様と検討開始

會和4年度：運行計画確定（春頃）、路線再編（秋頃）

参考：令和4年4月1日以降の73系統バスの時刻表（都筑が丘バス停）

時	中山駅前方面			センター南駅方面		
	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
6				32	39	39
7	19	20	20			
8				20	14	14
9	23	1	1		58	58
10	21	20	20	19		
11	51	47	47	19	23	23
12				47	48	48
13	21	20	20			
14				17	23	23
15	21	20	20			
16	21	20	20	17	21	21
17	42	52	52	22	23	23
18				44	55	55
19	27	30	30			
20	47	42	42	19	21	21
21				43	31	31
22	22	9	9			



【凡例】

73系統「センター南駅 → 前田公園駅 → 川和町 → 都筑ふれあいの丘駅 → センター南駅」一方循環